

兵庫県立福崎高等学校  
図書だより



2024年 5月号

中間考査が終わりました。みなさん勉強の成果は発揮できたでしょうか。部活動の試合や文化祭で気ぜわしい毎日ですが、たまには読書で別世界をのぞいてみてくださいね。裏面に図書委員からのおすすめ本を紹介しています。

【学級文庫の設置について】

各クラスの図書委員が、クラスのみなさんに読んでほしい本・10冊を選び、学級文庫として教室に設置しています。1学期間にわたりクラス全体に貸し出しますので、教室にある本を読むことをきっかけに、図書室にも足を延ばしてください。なお、学級文庫から本を借りるときは、改めて図書室で手続きをする必要はありませんが、クラスのみなさんの責任で確実に管理してください。

【図書室の新聞・雑誌について】

図書室には読売新聞と神戸新聞が毎日届いています。切り抜きはできませんが自由に過去にさかのぼって読むことができます。気になるニュースについて詳しく読んでみませんか？スマホでは気にならないニュースも目に入ってくるかもしれませんよ。また、NHKの英語教材「英会話タイムトライアル」と科学雑誌「ニュートン」の最新号も毎月届きます。その他、福崎町の広報や、留学、国際理解に関するパンフレット等も置いています。新聞・雑誌の貸出はできません。図書室内で自由に閲覧してください。

令和6年度 前期図書室開館予定表

原則月・水・金 昼休み12:55~13:15、放課後 15:40~16:50

月曜日		水曜日		金曜日	
5月20日	/	5月22日	○	5月24日	○
5月27日	○	5月29日	/	5月31日	○
6月3日	○	6月5日	○	6月7日	○
6月10日	○	6月12日	/	6月14日	/
6月17日	○	6月19日	○	6月21日	○
6月24日	○	6月26日	/	6月28日	○
期末考査					
7月8日	○	7月10日	○	7月12日	○
7月は午前中授業のため、13:00~13:30の開館とします					
7月15日	/	7月17日	/	7月19日	/
9月2日	/	9月4日	○	9月6日	○
9月9日	○	9月11日	○	9月13日	○
9月16日	/	9月18日	○	9月20日	○
9月23日	/	9月25日	○	9月27日	/
9月30日	○				

これ以外にも担当の先生が不在の時には閉館になることがあります。開館予定日以外で利用したい場合は、担当の先生まで相談を。



【図書委員からのおすすめ本 今回は各学年1組の委員さんを中心に】

『僕はロボットごしの君に恋をする』 山田悠介著

(図書委員長 Nさんからのおすすめ)

〈あらすじ〉 ロボットが普及した近未来の東京で、人型ロボットを使った国家的極秘プロジェクトが進んでいた。プロジェクトメンバーの健は幼馴染で同僚の陽一郎とその妹の咲に助けられながら奮闘するが、咲の勤務先にテロ予告が届く。健は想いを寄せる咲を守れるのか。

〈おすすめポイント〉 近未来が舞台なので、人型ロボットが出てきたりとSF的な話なのですが、咲に想いを寄せたり失敗しながらも様々なことに奮闘する登場人物を思わず応援したくなってしまいうくらい登場人物の人間味が強く、とても話の内容が入ってきやすい本になっていると思います。物語が進んでいくテンポ感も良いので、本屋長い文章を読むのが苦手な人でもとても読みやすくなっているのみなさんにも手に取ってほしいです。

予想を裏切られるおもしろくも切ない結末をぜひ自分の目で確かめてください。

『君の臍臓をたべたい』 住野よる著 (3-1図書委員 Sさんからのおすすめ)

〈あらすじ〉「桜良の死ぬ前にやりたいこと」に付き合っていくうちに、「僕」、桜良という正反対の性格の2人が、お互いに自分の欠けている部分にそれぞれ憧れを持つようになり、次第に心を通わせて成長していく。そして「僕」は「人を認める人間に、人を愛する人間になること」を決意。

〈おすすめポイント〉人は誰しもが弱く、その弱い部分を補ってくれるのが友達や家族、恋人であるということを教えてくれる作品であり、生きることの大切さを学ぶことができるからです。

『推し、燃ゆ。』 宇佐見りん著 (3-1図書委員 Sさんからのおすすめ)

〈あらすじ〉主人公は好きなアイドルを推すことを生きがいにしている高校生。ある日、その推しが炎上してしまう。推しを中止に生きている主人公は、今後どうなっていくのか…?

〈おすすめポイント〉今の私達高校生にとって、推しはとても身近な存在。だからこそ主人公にとっても共感できる部分が多いと思います。主人公の生き方を、あなたはどうか感じてください。それぞれの価値観でお楽しみください。推しが大切な存在、好きな人がいる全ての人に、この本を推したいです!!

『この素晴らしい世界に祝福を!』 暁なつめ著

(2-1図書委員・Iさんからのおすすめ)

〈あらすじ〉 ゲームを愛する引き籠もり少年・佐藤和真の人生はあっけなく幕を閉じたはず

だったが、目を覚ますと女神に「異世界に行かない?」と言われる。ここから始まる異世界ファンタジー。

〈おすすめポイント〉 この本は読むにつれてどんどん次の展開が気になって手を進めてしまいます。読みやすいうえに、笑える展開が多くあるので、本をあまり読まない人でも読みやすいです。登場人物も一人一人の個性が強くて、どんどん物語に引き込まれてまいります。

『ざんねんないきもの事典』 今泉忠明著

(2-1図書委員・Tさんからのおすすめ)

〈あらすじ〉 いきものざんねんなどが書いてある。

〈おすすめポイント〉

- ・まず最初のところの問いが深すぎる。
- ・いきものの意外なところについて知ることができる。
- ・誰が見ても(読んでも)おもしろい。
- ・絵もあるため読むのが嫌いな人でも読みやすくなっている。

『たまごの旅人』 近藤史恵著 (1-1図書委員 Nさんからのおすすめ)

〈あらすじ〉 新人の旅行添乗員がいろんな国へ行って、あこがれの旅行添乗員と出会ったり、旅行参加者のトラブルが起こっていきます。

〈おすすめポイント〉題名の「たまごの旅人」の意味が最初はわからなかったけれど、読んでいったら意味がわかってきます。旅行添乗員とは旅行ツアーの案内をする人のことで、新人の旅行添乗員が初めて行く国の案内をしているところや、観光地各所に行くところや、参加者とのトラブルを解決するところがおもしろいです。

表紙の絵もかわいし、5つの旅行先ごとに話がわかれていて読みやすく、手に取りやすいと思います。

1冊でいろんな国に旅行した気分になれます。

『この終末、ぼくらは100日だけの恋をする』 似鳥航一著

(1-1図書委員・Nさんからのおすすめ)

〈あらすじ〉 主人公・悠木と元同級生の凧が偶然再会する。凧の提案により、二人は100日間だけ同居をすることになる。

〈おすすめポイント〉 二人の距離が近づいていくにつれて、共に過ごせる時間が減っていつてしまうかなさが伝わる物語。最後は誰もが想像しなかった結末に涙する!